

4-3 廃棄物処理とリサイクル活動の推進

■現況と課題

1. ごみの減量化と資源化

経済活動の拡大や利便性を求める消費者ニーズを背景に、家庭や事業所から排出されるごみの量の増加、質の多様化が進んでいます。また、地球温暖化問題など地球規模の環境問題が深刻化しており、資源の再利用やリサイクル活動を推進していく必要があります。

本町では、ごみの減量化・資源化を推進するため、各家庭・事業者において他町には見られないプラスチックごみの資源化による分別収集（料金の軽減）とリサイクル化を実施し、これに伴う埋立処分の減少による最終処分場の延命などに努めています。また、資源化の促進のため粗大ごみの自宅前回収、ごみステーションの設置補助、ごみのクリーンプラザへの直接搬入（料金の軽減）など、ごみの出しやすい環境整備を図っています。

今後も、町民・事業者への分別意識の徹底、リサイクル意識の向上など、マナーの啓発やルール遵守の徹底による、ごみの減量化を進める必要があります。

また、限りある資源を有効に活用し、地球環境の保全という観点から、環境への負荷を減らす循環型社会の構築が求められています。【12】

2. 廃棄物処理施設の対策

現在、ごみ焼却処理に伴うダイオキシン類や最終処分場の水質などの適正処理など環境保全に最大の対策を講じており、施設の運営は順調に推移しております。

今後も、施設稼動が長期となるところから、メンテナンスも含めて効率的な運営による経費の削減や適正な維持管理を行う必要があります。また、このまま大量廃棄が続きますと、現在の処理施設が限界となり、新たな最終処分場を建設する場合には、環境保全施設や環境アセスメントの確保など、莫大な財源と歳月を要する問題が生じてきます。

このため、現在の最終処分場を可能な限り長期利用することが必要となります。【12】

